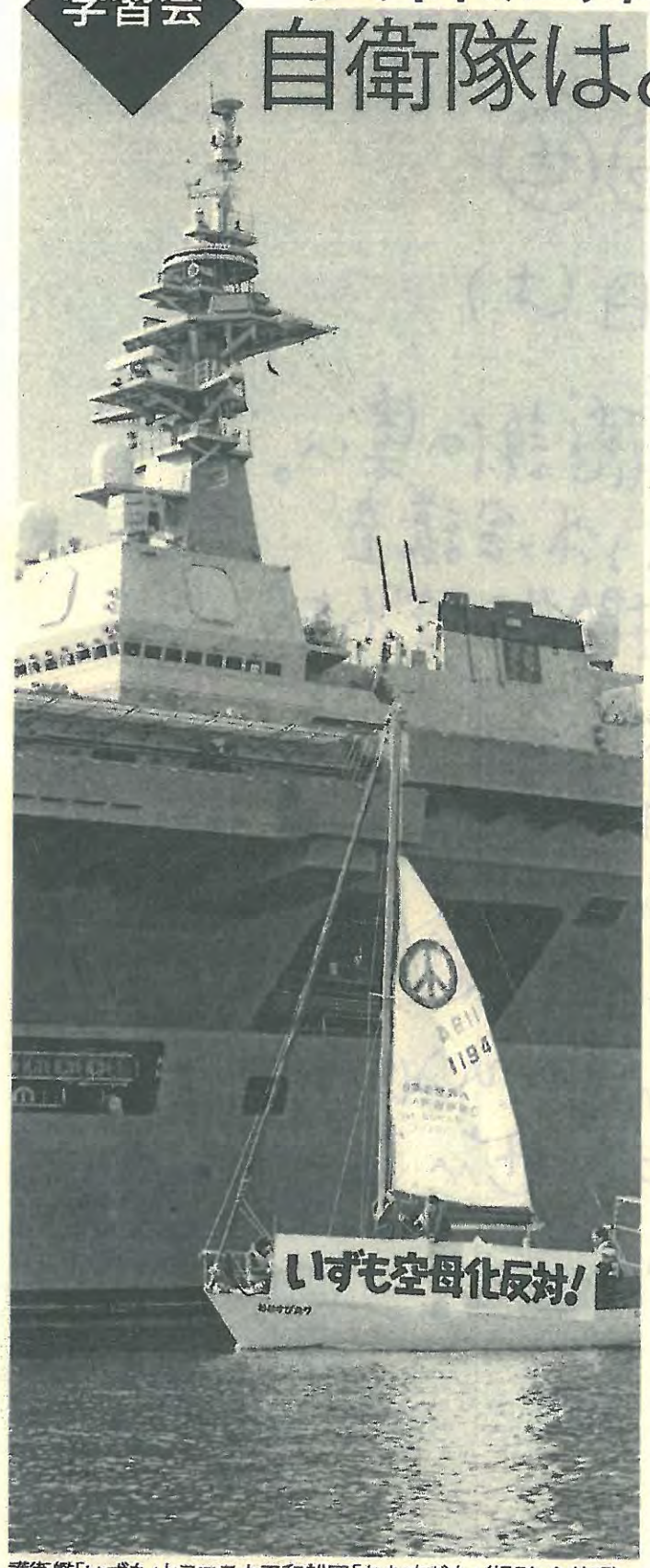
学習会

「安保法制」後の横須賀 自衛隊はどこに向かうか

3/17日

13:30～　産業交流プラザ第2研修室
資料代:500円



護衛艦「いずも」とヨコスカ平和船団「おむすび丸」(撮影:今井明)

基調講演●

前田哲男

(軍事ジャーナリスト)

報告1●木元茂夫

自衛隊の南西諸島配備と南シナ海での作戦行動

報告2●新倉裕史

強化される海上自衛隊と自衛官問題

●自衛隊初の「米艦防護」で、新たな日米軍事一体化のシーンへ躍り出た護衛艦「いずも」。その「いずも」が、専守防衛を逸脱する「攻撃型空母」に生まれ変わろうとしています。

●「いずも」は横須賀に配備されている海上自衛隊最大の戦闘艦。「安保関連法」に基づく、日米共同行動も、横須賀を起点として実施されました。

●その横須賀で、もうひとつの重要な動きが進行しています。海上自衛隊施設の相次ぐ強化です。専用桟橋の建設、海上作戦センターの新設、大型弾薬庫の建造等々、有事即応態勢をめざした動きが急です。

●「安保関連法」成立後の自衛隊は、どこに向かおうとしているのか。横須賀の海上自衛隊は、何をしようとしているのか。そして、自衛官は…。

主催　非核市民宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団
横須賀市本町3-14 山本ビル2階　tel.fax.046-825-0157